

# 質疑及び一般質問

令和8年5月27日、28日、6月1日に開催された本会議では、次の議員が質疑及び一般質問を行いました。  
各議員の質問の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

## 5月27日(水)



**亀山 貴史** 自由民主党 (桐生市)



### ▶温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録について

登録に向けた今年度の事業展開を伺いたい。

#### A 知事

“群馬のONSEN”の世界への発信や温泉地のシビックプライド醸成のため、今年度から「温泉文化カンファレンス」を開催するほか、知事の会では「温泉文化・世界サミット」を開催予定である。温泉文化議連や関係団体とも連携し、保護・継承に関する取組も進め、2030年登録を目指し、群馬県が「温泉文化」の聖地となるよう、その価値や魅力を世界に向けて発信していきたい。



**あべ ともよ** つる舞う (太田市)



### ▶部活動における移動時の安全確保について

県立高校における部活動の際の移動交通手段について、現状と安全確保のための取組状況はどうか。

#### A 教育長

大会等への移動には自転車や公共交通機関等を原則としており、支障がある場合は学校自動車の使用を認めているが、レンタカーは認めていない。運転者は学校職員とし、校長が交替の運転手又は助手の配置や心身の状態等を確認して承認している。県外の場合は県教育委員会が休憩頻度や走行距離等を確認し、必要に応じて行程の変更等を指導している。今後も国の動きを注視しながら、生徒の移動時の安全確保に向けて必要な体制を整えてまいりたい。



**松本 基志** 自由民主党 (高崎市)



### ▶中東情勢を踏まえた原油高騰等への対応について

中東情勢等の影響を受けている中小企業・小規模事業者に対する県の具体的な支援策について伺いたい。

#### A 産業経済部長

中小・小規模事業者に資金繰りや収益の見通しへの不安が高まっていることから、令和7年度から経営サポート資金に新たなメニューを追加するなど、影響を受ける事業者の資金繰りを支援している。また、5月補正予算において、当該資金の融資枠の拡大や、新たな保証料補助を行う。先行きは不透明であるが、今後も県内経済の動向を的確に把握し、機動的かつきめ細かな支援に取り組んでいく。



**鈴木 敦子** リベラル群馬 (高崎市)



### ▶グリーンバック<sup>\*1</sup>について

Gメッセ群馬に設置されているグリーンバックの活用実績や、今後の展開について伺いたい。

#### A 戦略セールス局長

Gメッセ群馬のグリーンバックは国内最大規模のものであり、今までミュージックビデオ1作品で利用された。また、G7デジタル・技術大臣会合・デジタル技術展等でリアルタイム合成技術の体験機会を提供している。Gメッセ群馬をスタジオ利用した場合に補助上限額が加算される補助金も設けており、こうした制度も活用しながら、スタジオとグリーンバックの利用を一体的に促進していきたい。

## 5月28日(木)



**追川 徳信** 自由民主党 (高崎市)



### ▶史跡上野国分寺跡の整備・活用について

国史跡指定100年の記念事業や地域主体の活動をどのように支援し、史跡を活用していくのか。また、尼寺跡も含めた今後の整備・活用方針について知事の所見を伺いたい。

#### A 知事

今年度の国の史跡指定から100年目という節目の年にあたることから、①記念シンポジウムの開催、②ガイダンス施設での100周年記念展示、③「上野国分寺まつり」にあわせた県イベントの開催、という3つの記念事業を予定している。史跡の整備・活用にあたっては財政的な課題もあるが、尼寺跡も含めた歴史的環境の保存・活用について、高崎市と連携しながら引き続き検討してまいりたい。



**薬丸 潔** 公明党 (太田市)



### ▶難病患者に対する県有施設の使用料減免について

これまで、難病患者に対する県有施設の使用料について減免措置を講ずるようお願いしてきたところであるが、知事としての対応方針について伺いたい。

#### A 知事

難病の長期にわたる療養は、患者本人や家族にとって負担が大きいものと認識している。このため、外出や文化・スポーツ活動の機会の拡大を通じた生活の質の向上を図る意義を踏まえ、新たに令和8年9月1日から、県有施設使用料等の減免措置を実施する予定である。実施にあたっては、医療費受給者証の更新時等を通じて対象者全員に確実に周知を行った上で、開始したい。



**斉藤 優** 自由民主党 (伊勢崎市)



### ▶男女共同参画の推進について

地域に残るジェンダーギャップや固定的な性別役割分担意識が若年女性の県外流出にも影響を与えている。この課題の解消に向け、どのような事業を推進していくのか伺いたい。

#### A 生活こども部長

地域内のジェンダーギャップや固定的な性別役割分担意識は、若年女性の県外流出の一因とみられ、男女共同参画の推進を図る上で重要な課題であると認識している。今年度は新たに、県内の大学と連携した「Life Design & Gender Lab」事業による連続授業や、「名もなき家事」の副読本の全高校生への配布を予定している。こうした取組を通じて「誰にでも選ばれる群馬県」の実現を目指してまいりたい。



**水野 喜徳** 自由民主党 (吾妻郡)



### ▶中東情勢の混乱に伴う農業への影響について

中東情勢の混乱により、肥料や石油由来の農業資材の価格高騰・供給不足の懸念が高まっているが、情報収集の方法や現在把握している状況、今後の見通しについて伺いたい。

#### A 農政部長

関係団体等への聴き取りや、資材調達、生産現場、出荷・流通等の動向を把握し、分析を行っている。現状、農業生産に重大な影響を与える事態は確認されていないが、一時的に資材確保が困難となる事態も想定される。引き続き、関係機関と緊密に連携して実態把握に努め、状況に応じた的確な情報提供を行うとともに、中長期的な視点で農業者の経営安定に資する取組を進めてまいりたい。

## 6月1日(月)



**大林 裕子** 自由民主党 (北群馬郡)



### ▶児童生徒のスマートフォンやSNS利用について

スマートフォンを所持する児童生徒の低年齢化が進む中、児童生徒の安全なスマートフォンやSNS利用のために、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺いたい。

#### A 知事

SNSやインターネットは、大きな可能性を持つ一方、誹謗中傷やデマの拡散等深刻な問題も抱えており、光と闇の両面があると考えます。県では、児童や親向けの講習会の実施や動画教材の配信等、インターネットリテラシー向上に向けた取組を行っている。引き続き、対策を講じ、全ての県民が被害者にも加害者にもなることなくインターネットの恩恵を享受できる社会の実現を目指してまいりたい。



**井田 泰彦** つる舞う (桐生市)



### ▶新たな文化拠点整備の優先順位について

中期財政見通しでは今後財源不足が見込まれ、建設費も高騰している。待ったなしの県政課題も数多くある中、なぜ今、新たな文化拠点整備をするのか、知事の考えを伺いたい。

#### A 知事

財政環境は厳しさを増しており、待ったなしの重要課題が存在していることは十分認識している。一方、文化は県民の幸福度を高める重要な要素であると考えており、新たな文化拠点は、単なる施設整備ではなく、県民幸福度向上に資する戦略的投資になると考える。県民が文化芸術に関わる入口づくりや、戦略的投資という観点から、財政環境にも十分留意し、しっかりと検討を進めてまいりたい。



**鈴木 数成** 自由民主党 (前橋市)



### ▶新たな文化拠点の立地について

新たな文化拠点の候補地や条件はどうか。また、現在地の利活用はどのように考えているのか。

#### A 知事

新たな文化拠点は、将来にわたって多くの県民に利用され、地域の活力創出に資することが重要である。私としては、旧県民会館が県民の文化活動を支えてきたことや、色々な方々の想いを考えると、前橋市内での整備が良いと考えている。今後も幅広く意見を伺いながら立地の検討を行い、現在地の利活用についても、既存建物のあり方や立地の方向性を整理する中で総合的に検討してまいりたい。



**橋爪 洋介** 自由民主党 (高崎市)



### ▶児童相談所等での自閉スペクトラム症のエビデンスのある評価診断の普及と研修について

自閉スペクトラム症(ASD)のエビデンスのある評価診断の普及と研修について、群馬県自閉症協会から要望が出ているが、課題と今後の対応について、県の見解を伺いたい。

#### A 生活こども部長

ADOS-2<sup>\*2</sup>のような検査手法を心理職が習得することは、こどもの状態を多面的に捉える上で一定の意義があると考えますが、導入には、医療機関との役割分担や連携についての整理、検査精度確保のための専門性維持に向けた体制整備等の課題もある。具体的な論点整理、当事者や関係機関との意見交換も行き、早期の支援につなげてまいりたい。

\*1 グリーンバック…映像制作において、背景を自由に合成できる設備 \*2 ADOS-2 (エイドス・ツー) …自閉スペクトラム症の特性を評価するための診断補助検査。専門の研修を受けた医師・公認心理師などが、定められた検査用具等を用い、遊びや会話などを通じて、コミュニケーションや社会性、行動の特徴などをより専門的に評価するもの